

# 優秀賞 「軌跡音楽」

大澤 文明 様

## 「軌跡の音楽」

図形譜は五線譜の制約を超えた記譜法として生まれました。  
偶然性や解釈の自由に価値を認めた芸術です。

GPSは現在位置を教えてくれるものですが、  
もちろん、過去の位置を記憶しておくこともできます。  
現在の点と過去の点を結ぶことは、線を引くことです。

移動を、図形を描くことだと捉え直すと、  
GPSによって、楽譜を書けることになります。

移動の軌跡が、楽譜を生みます…!

右図は図形譜の実例です。

住宅街の地図のような1、都市の断面図のような2、  
湖畔の散歩道のような3、高速道路の立体交差のような4、

さまざまな動きを楽譜にできそうです。

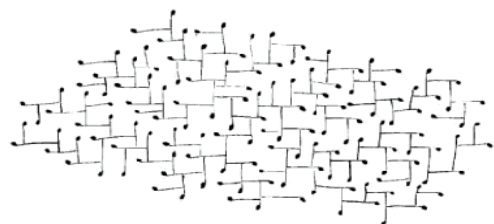
**軌跡  
音楽**

GPSで生まれる

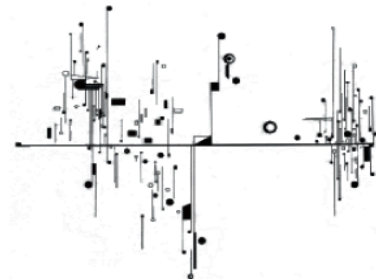
風景は、街ごとに異なります。  
歩み方は、生き方によって異なります。

街の数だけ、人の数だけ、軌跡が生まれるでしょう。  
曲は日によって異なるものに仕上がるでしょう。  
集まれば、街や自分らしさの輪郭が聴こえてくるでしょう。

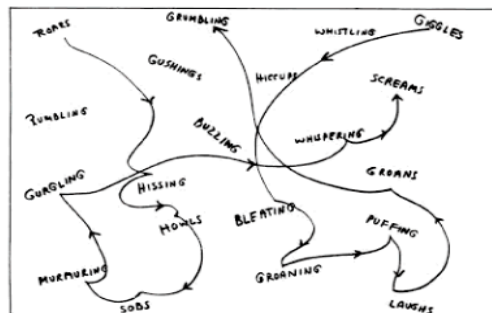
ブログに上げる人、インターネットで共有する人、  
さまざまな表現者が出てきます。  
私のおすすめは、音楽でつける日記です。



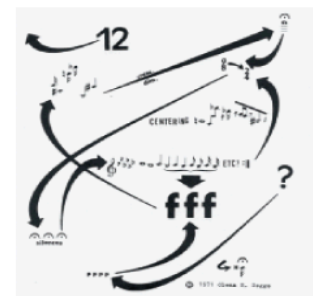
1. Tom Johnson. | Imaginary Music  
No. 65 "Syncopated Texture"



2. Roman  
Haubenstock-Ramati.  
"Konstellationen"



3. Murray Schafer. The Thinking Ear  
"When Words Sing"



4. Glenn R. Sogge.  
"Molly's Soliloquy for  
performer with clarinet"

